

研究課題名	当院における転移性脳腫瘍を認めた婦人科悪性腫瘍の検討
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科 産科婦人科学 教授 工藤 美樹
研究期間	倫理委員会承認後～ 2024 年 12 月 31 日
対象者	2008 年 1 月から 2020 年 12 月の間に、広島大学病院産科婦人科で婦人科悪性腫瘍を原発とする転移性脳腫瘍の診断・治療を受けられた患者さん
意義・目的	転移性脳腫瘍（以下、脳転移）は全悪性腫瘍の 10%程度に発生するとされ、極めて予後不良な疾患です。原発となる悪性腫瘍は肺癌や乳癌が多く、婦人科悪性腫瘍からの脳転移は 1%と稀です。そのため、他癌腫と比較して情報が少なく、他癌腫で得られた脳転移に対する治療方法や予後予測などを婦人科悪性腫瘍も同様に考えて良いか明らかになっていません。そこで、本研究では、当科におけるこれまでの婦人科悪性腫瘍を原発とする脳転移症例の臨床的特徴、治療、予後を分析することで、今後の治療に役立てることを目的に研究を行います。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は年齢、身長、体重、既往歴、病巣部位、臨床症状、罹病期間、治療内容、治療効果、予後、血液検査、画像検査結果、手術療法の内容、病理組織学的所見、化学療法の内容、放射線療法の内容、有害事象の評価です。
共同研究機関	ありません
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医系科学研究科 産科婦人科学 教授 工藤 美樹
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人を識別できる情報は含まれません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 T e l : 082-257-5262 広島大学病院 産科婦人科 クリニカルスタッフ 中本 康介 広島大学病院 産科婦人科 講師 古宇 家正